



Nissan Chemical
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

第153回 定時株主総会





報告事項

国内景気

行動制限の緩和等
個人消費を中心に
回復基調

原燃料価格高騰
物価上昇

海外経済の低迷
輸出低調

本格的な回復に至らず

化学品 セグメント

基礎化学品、
ファインケミカルともに増収

機能性材料 セグメント

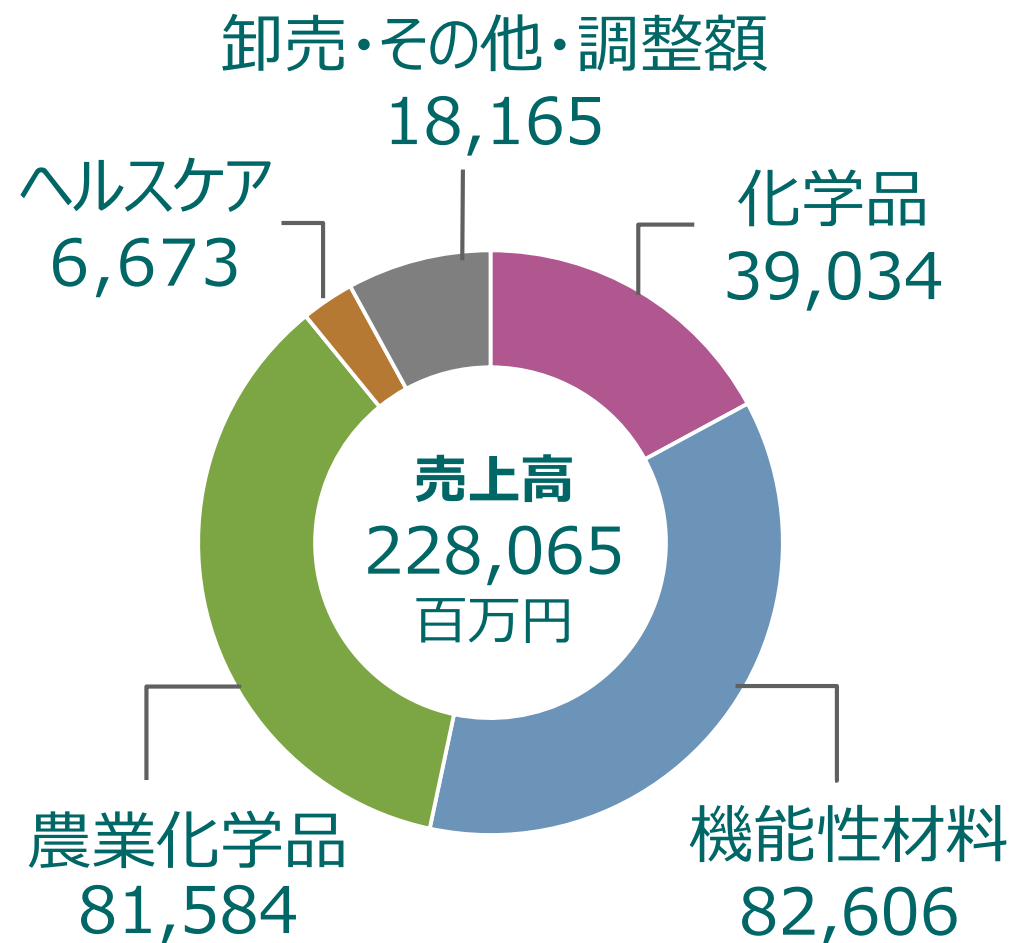
ディスプレイ材料減収、
半導体材料、無機コロイド増収

農業化学品 セグメント

農薬、動物薬ともに増収

ヘルスケア セグメント

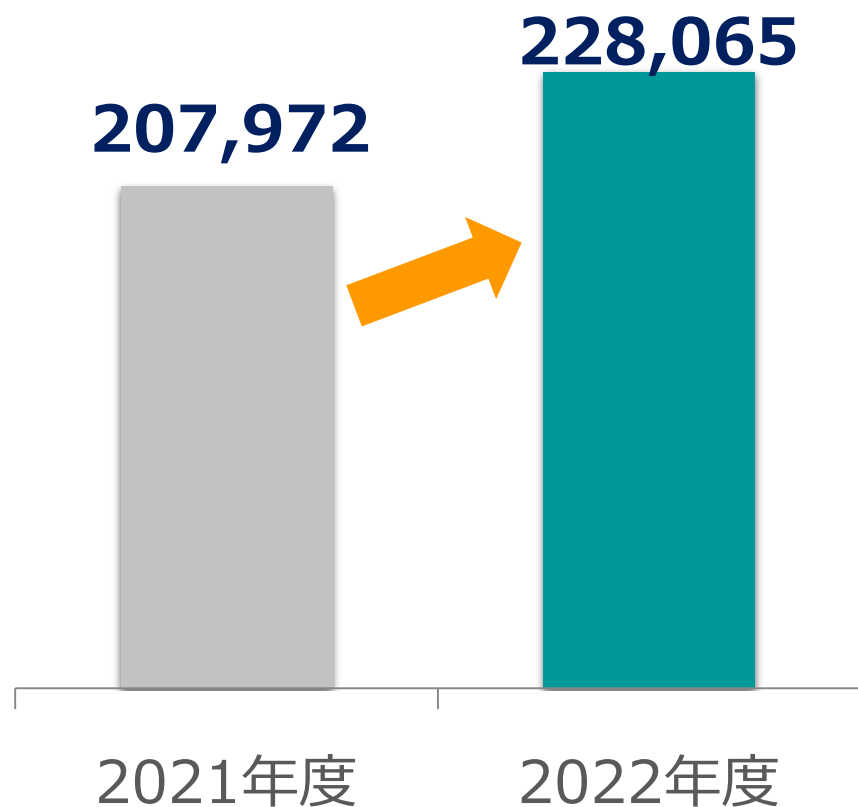
「ファインテック」増収



売上高

2,280億65百万円

単位：百万円



過去最高

前期比

200億93百万円増

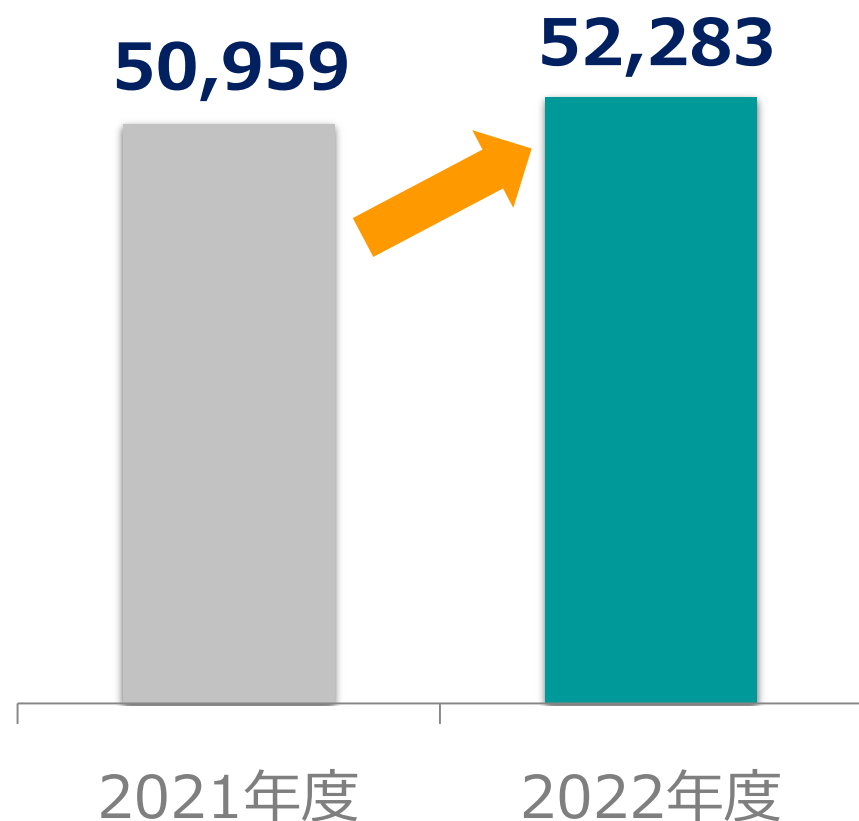
9.7%



営業利益

522億83百万円

単位：百万円



過去最高

前期比

13億23百万円増

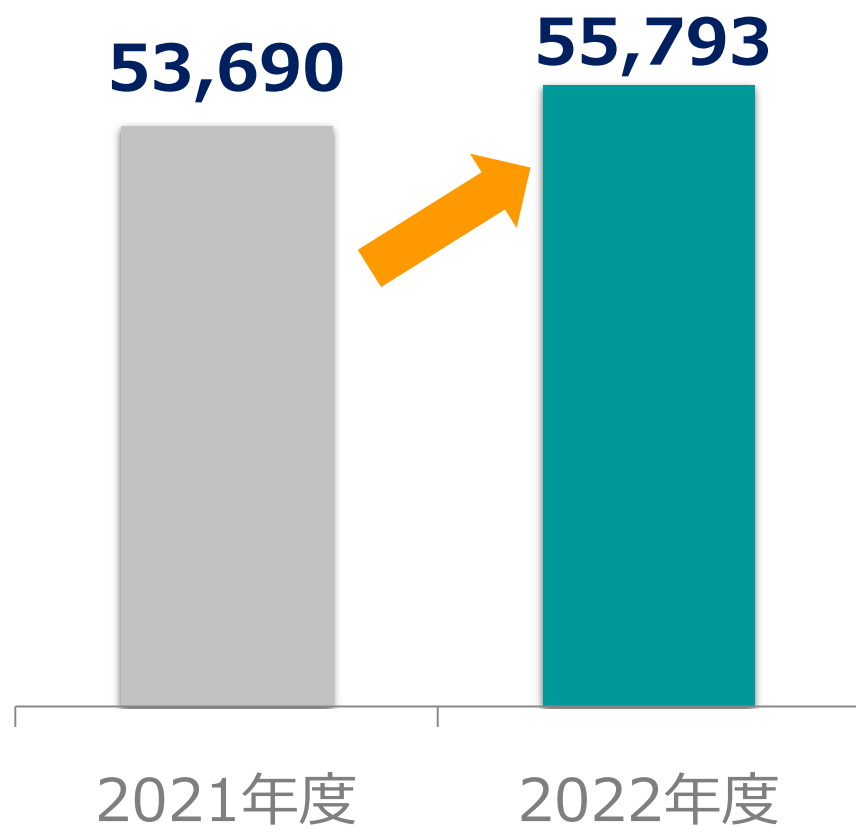
2.6%



経常利益

557億93百万円

単位：百万円



過去最高

前期比

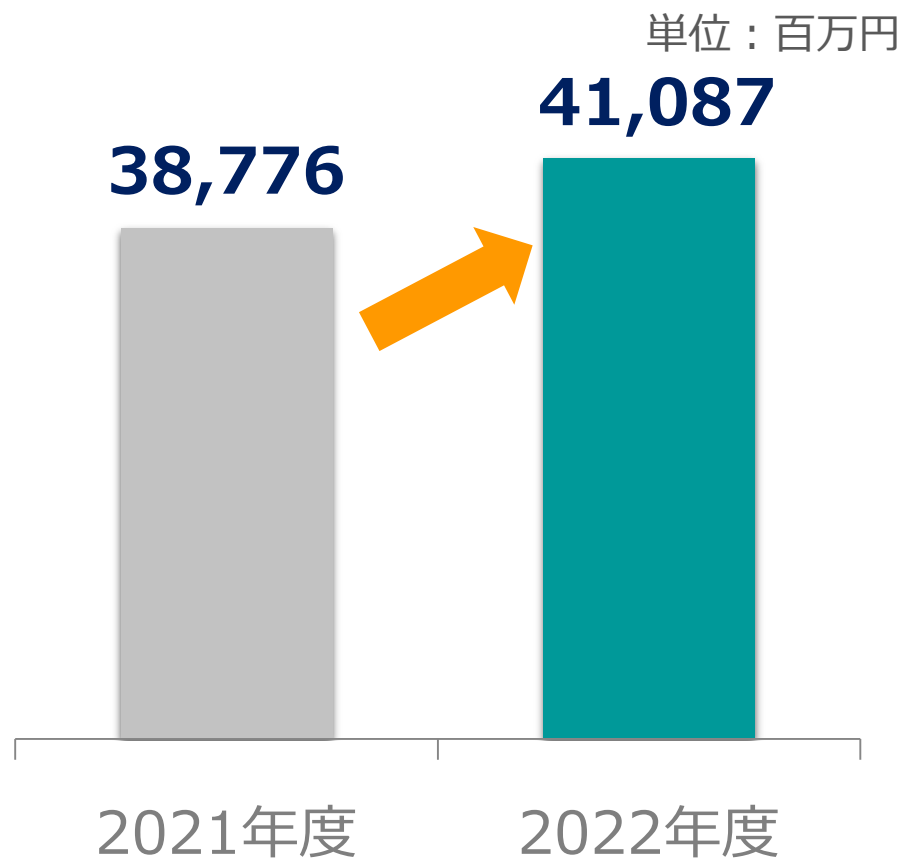
21億3百万円増

3.9%



親会社株主に帰属する
当期純利益

410億87百万円



過去最高

前期比

23億11百万円増

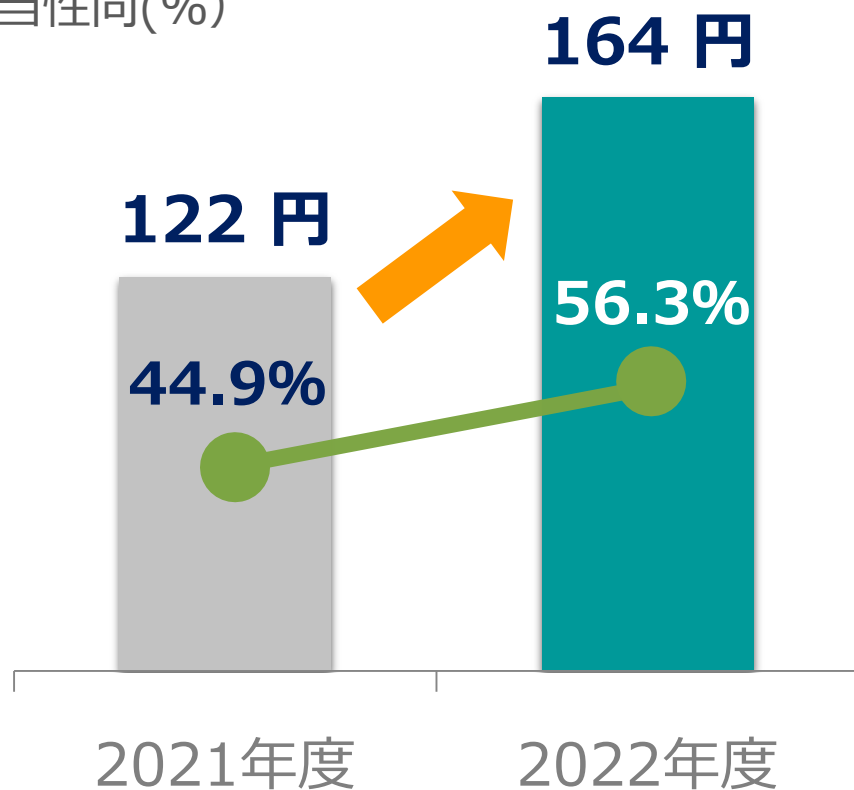
6.0%



年間配当金

1株につき 164円 (予定)

● 配当性向(%)



前期比
42円増配 ↑

売上高営業利益率

22.9%

1.6ポイント



自己資本利益率(ROE)

19.4%

0.2ポイント



1株当たり当期純利益(EPS)

291.36円

19.48円





対処すべき課題

2050年に視座を高めた
長期経営計画

「Atelier2050 (アトリエ2050)」

通過点となる2027年の姿を示す
中期経営計画

「Vista2027」

社会が求める価値を提供し、
地球環境の保護、人類の生存と発展に貢献する

社会課題の解決と、持続可能な
発展を強く意識した企業価値向上

環境との調和を図りながら、
人々の豊かな暮らしと幸せの実現

前半3カ年 Stage I (2022~24年度)

Stage I 最終年度 (2024年度) 目標
売上高2,550億円 営業利益585億円

基本戦略

事業領域の深掘りと
マーケティング力の向上

サステナブル経営の推進

価値創造・共創プロセス
の強化

現有事業のシェア・利益
の拡大

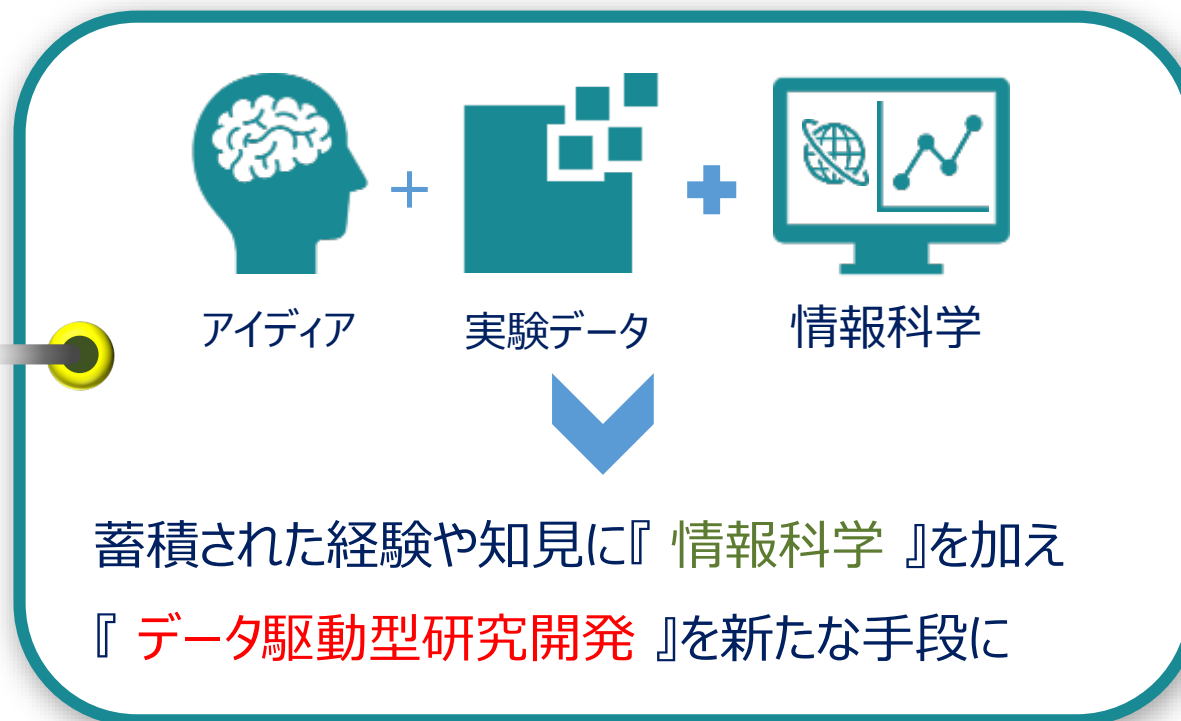
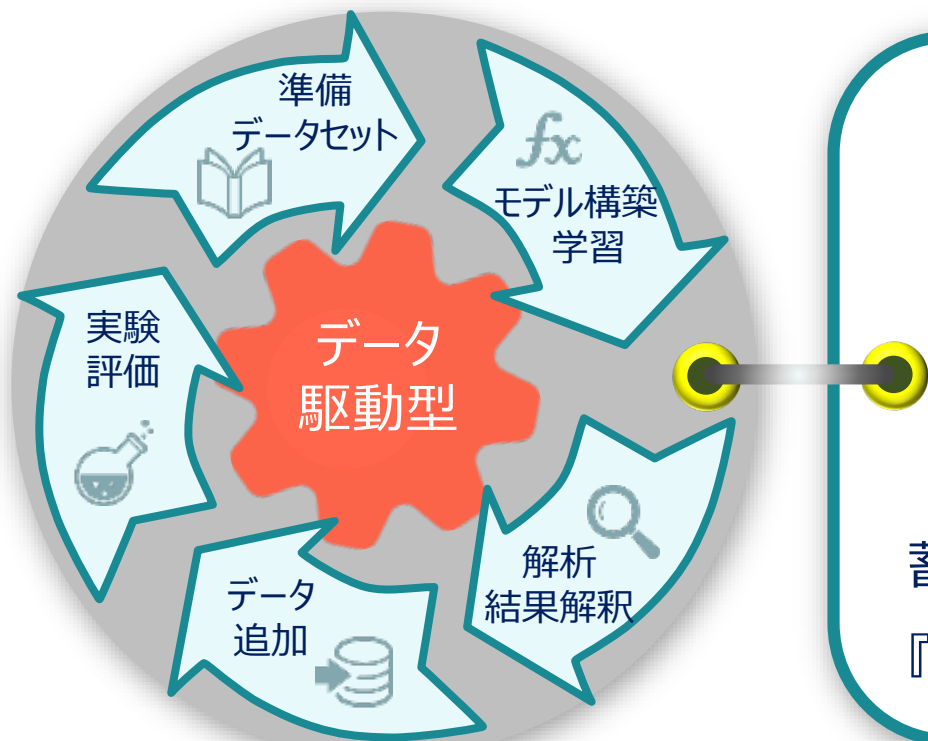
生物科学研究所 バイオロジカルグループ新設

微生物を利用した農業資材の創出に向け、
コア技術の育成



MI（マテリアルズ・インフォマティクス）活用

コア技術の育成、製品開発の迅速化



企画本部 アニマルケア企画グループ新設

動物用医薬品の事業化を検討
ライフサイエンス事業領域の長期発展を目指す



日産化学サステナブルアジェンダの策定

社会課題解決に貢献する製品やサービスを提供、拡充

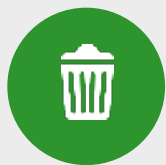
貢献する領域



地球の未来のために
できること



CO₂の削減



廃棄物の削減



水環境の保全



人の未来のために
できること



人と動物の
健康問題の解決



スマート社会の
実現



食料不足の
解決



気候変動対策委員会の設置

リスクや機会の洗い出し、分析や評価、それに対する戦略の立案



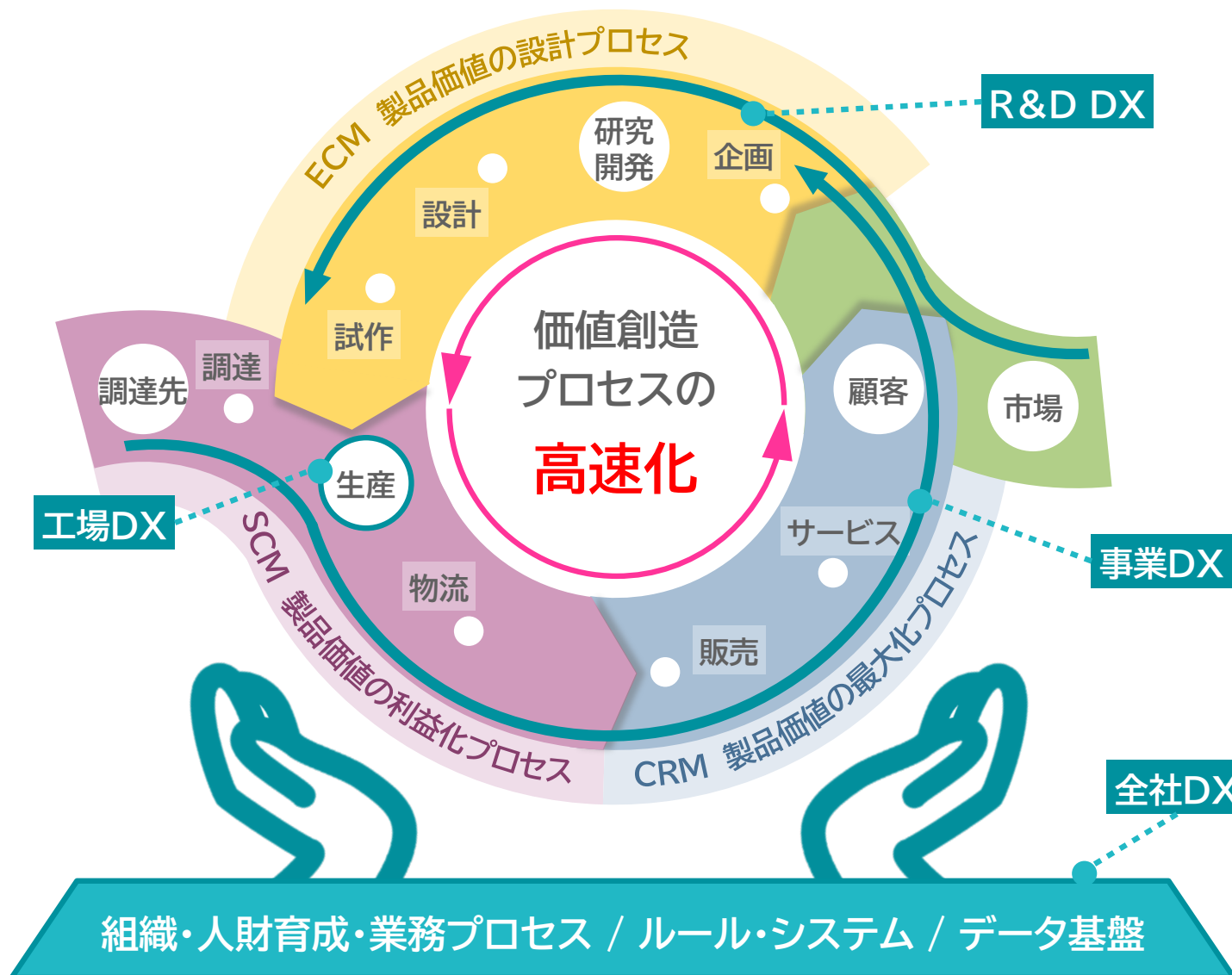
人事制度の刷新

いきいきと働ける職場づくりを行い、人的資本の最大化に注力



DX基盤の構築

デジタル技術・
データの最大活用



略語

CRM: カスタマー・リレーションシップ・マネジメント

ECM: エンジニアリング・チェーン・マネジメント

SCM: サプライ・チェーン・マネジメント

農業化学品
セグメント

殺虫剤「グレースシア」

グローバル展開を推進

農薬登録を取得した国（2023年5月末時点）

アジア：

日本、韓国、インド、
インドネシア、ウズベキスタン

中東・アフリカ：

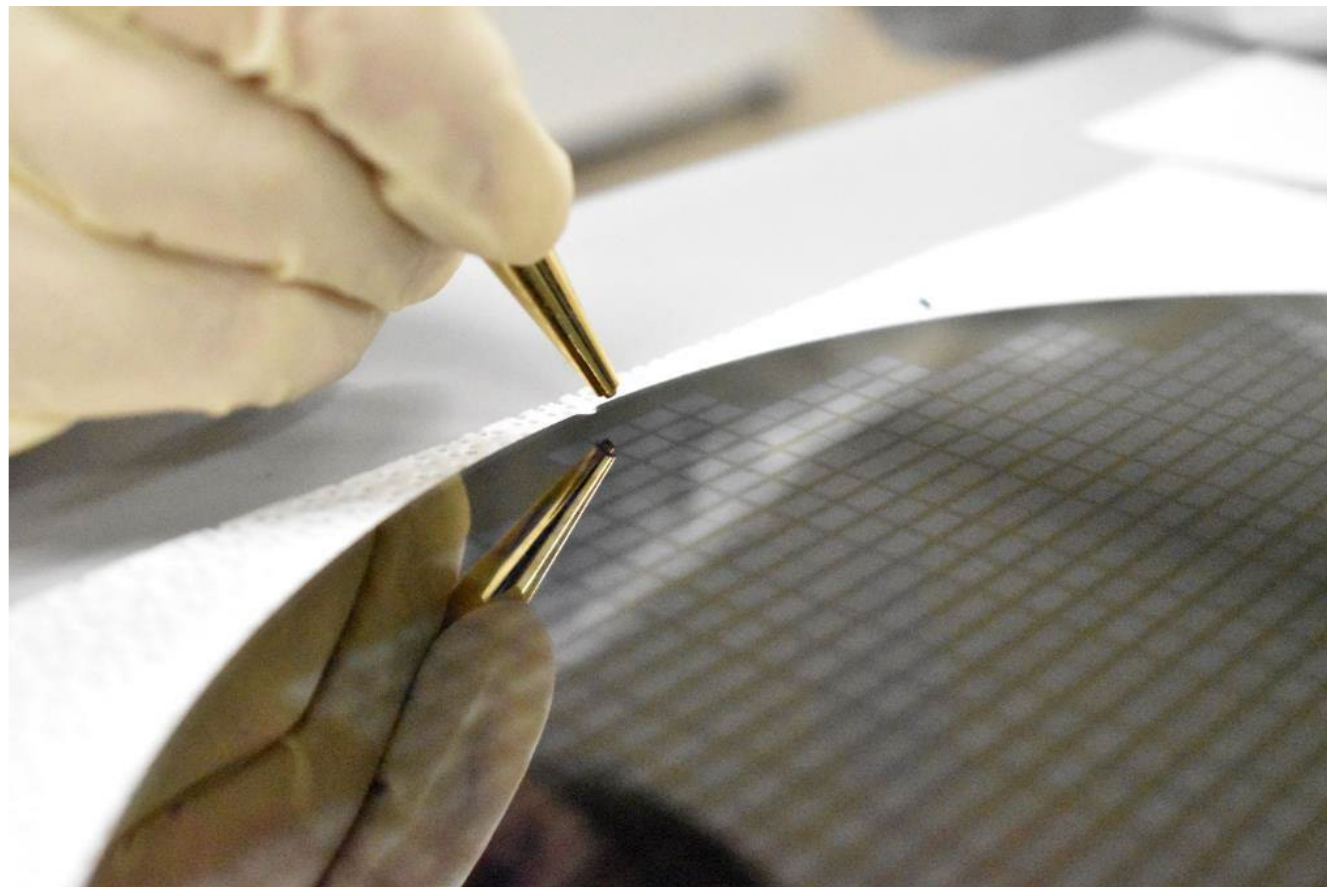
サウジアラビア、アラブ首長国連邦
ヨルダン、西アフリカ



機能性材料
セグメント

半導体材料

リソグラフィ材料に加え、
実装材料の研究開発強化



機能性材料
セグメント

ディスプレイ材料

新たな材料の
研究開発を推進



機能性材料
セグメント

無機コロイド

オイル&ガスの
新たな採掘効率向上材
「nanoActiv Enhanced」の
販売促進



供給体制強化

農業化学品 セグメント



Nissan Bharat Rasayan PVT.LTD.

インド合併会社 農薬原体製造開始

機能性材料 セグメント



NCK Co., Ltd. 唐津工場

韓国製造拠点 24年稼働予定

コーポレートガバナンス

ステークホルダーの持続的かつ中長期的利益実現のために、
経営を健全に効率化する仕組み

経営意思決定の迅速化

経営責任・業務執行責任の明確化

経営の監視機能・コンプライアンス、リスク管理・内部統制システムの強化

すべてのステークホルダーから信頼される企業グループの実現



Nissan Chemical

CORPORATION

日産化学株式会社